

第一期の造成が完成した
光工業団地



将来像は 第9次 総合

組織の育成強化・新技術の普及・効率の高い土地利用の推進等、水田農業の生産性の向上を図ります。合わせて、農業経営の高度化、農業経営コストの低減を促進し、自立経営農家の育成を図ります。

商業については、各商店の特色を生かすとともに、商店街機能の充実を図り、消費者の町外への流出を防ぐよう推進します。

工業については、篠本の第2期開発を積極的に推進し、地権者全員の開発同意、更には地域の皆さんの特段のご理解とご協力のもとに、平成3年度には県企業庁により造成

工事を着工します。

観光については、恵まれた自然環境を保全しつつ、観光施設の整備と観光資源の開発に努め、通年型観光の推進を図ります。

●3年間に計る事業

- ①農道の整備（宝米）
（事業費 6,979万1千円）
- ②転換水田の整備
（事業費 1億1,742万円）
- ③航空防除
（事業費 1,188万円）
- ④転作定着化の促進
（事業費 2,850万円）
- ⑤水田作経営改善の推進
（事業費 3,040万円）
- ⑥農業近代化施設の整備
（事業費 1億3,485万円）
- ⑦農業機械リース作業受委託の促進
（事業費 1,450万円）
- ⑧土地改良
（事業費 9,000万円）
- ⑨県営湛水防除
（事業費 3億3,457万6千円）
- ⑩地域農政の推進
（事業費 570万円）
- ⑪園芸の振興
（事業費 801万9千円）
- ⑫畜産の防疫
（事業費 525万円）
- ⑬工業団地付替道路の舗装
（事業費 5,750万円）
- ⑭海水浴場の安全対策
（事業費 706万2千円）

未来を担う人材の育つまち

（教育文化の向上）

家庭・学校・社会の持つ教育機能をお互いのかかわりの中で、総合的に高めていくため、学校教育にあつては、高度情報化・国際化など時代の要請に対応できる教育を展開していくとともに、将来の町を担う子供たちの個性を生かした教育が実践できるよう学

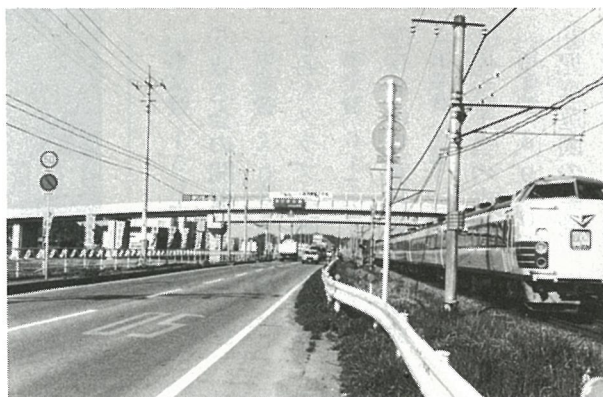
校教育の整備充実を図ります。社会教育については、図書館建設等の施設整備、学習機会の拡充などによる質的向上を図り、町民の自主的な活動を積極的に推進します。社会体育については、町民が身近でしかも手軽に楽しむことができる機会の提供と拡

大化のため、光スポーツ公園の整備を図り、スポーツ活動を通じて町民の健康・体力づくりを推進します。文化面については、余暇時間の増加とともに文化活動にも多くの参加が見られるので今後各種文化活動の振興に努めていきます。

●3年間に計る事業

- ①学校図書整備
（事業費 2,488万8千円）
- ②小・中学校の施設整備
（事業費 1億5,457万3千円）
- ③外国青年の招致
（事業費 1,827万円）
- ④教職員の研修（海外・県外）
（事業費 330万円）
- ⑤青少年補導委員会等の活動
（事業費 1,695万8千円）
- ⑥学校給食センターの施設整備
（事業費 1,569万6千円）
- ⑦生涯学習の推進

- ⑮町民票制度の推進
（事業費 90万円）



幹線道路を結ぶ「あけぼの橋」